

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：社会福祉諸費

事業名 福祉の仕事就職フェア開催費

(地域医療介護総合確保基金(介護分))

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 地域福祉課 福祉人材係 電話番号：058-272-1111(内3448)

E-mail：c11219@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,050千円 (前年度予算額： 5,050千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,050	1,515	0	0	0	0	3,535	0	0
要求額	5,050	0	0	0	0	0	3,535	0	1,515
決定額	5,050	0	0	0	0	0	3,535	0	1,515

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

平成29年度までは、年2回、県内の福祉事業者が一堂に集まる「福祉の仕事就職総合フェア」を開催していたが、H28年度が177人、H29年度が171人と参加者は少ない。今後2025年までに介護人材は約4,400人の不足が見込まれ、多くの福祉人材の確保が急務である。幅広い産業分野の法人が集まり、参加者も多い「オール岐阜・企業フェス」に福祉分野の法人を組み込んで開催することで、より多くの参加者に福祉の仕事を理解してもらい、福祉人材の確保につなげていく。

(2) 事業内容

- ・求人事業所面談
- ・福祉の仕事相談

(3) 県負担・補助率の考え方

事業費のうち、福祉の仕事就職総合フェアに参加する高齢分野の事業所割合（7割）は地域医療介護総合確保基金（国2/3、県1/3）を活用

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,012	全体企画費、会場借上料、会場設営費、イベント運営費、広報費
報償費	27	プロポーザル評価会議構成員報償費
旅費	10	プロポーザル評価会議構成員費用弁償
需用費	1	会議飲料代
合計	5,050	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略、県第五期地域福祉支援計画

(2) 国・他県の状況

山口県が商工労働部主催の一般企業合同就職フェアと共催

(3) 後年度の財政負担

期限を定めず継続的に実施

(4) 事業主体及びその妥当性

県の独自事業であり、県が事業主体となることは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

福祉の仕事へ就きたい方や関心のある方の就職活動を支援し、福祉人材の確保を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①出展企業数 (社/年)		454	600	600	600	
②訪問者数 (人/年)		2,020	2,200	2,200	2,200	

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p><取組み内容> 令和3年2月1日～3月24日 オンライン開催 出展企業数（参加のべ318事業所 うち福祉分野39事業所） 県内福祉事業所と学生がこれだけ大規模に集まり面談や就職相談を行う機会はなく、福祉分野への就業促進に一定の役割を果たしている。県内最大級の就職活動イベントである「オール岐阜・企業フェス」に組み込んで開催することで認知度が向上し、福祉分野への就職希望者の増加が見込まれる。</p> <p>指標① 目標：<u>400</u> 実績：<u>318</u> 達成率：<u>79.5</u> % 指標② 目標：<u>100,000</u> 実績：<u>73,311</u> 達成率：<u>73.3</u> %</p>
令和3年度	<p><取組内容> 令和4年1月20日～3月18日開催（オンライン） 出展企業数：309社（商工211、福祉37、土木61） 登録者：457人（大学生203、高校生64、保護者等190）</p> <p><成果> 2年連続のオンライン開催となったが、指標としては全体的に令和2年度を下回る結果となった。企業からの希望を踏まえ、令和4年度は対面開催とした。今後もより効果的な事業となるよう見直しを行っていく。</p> <p>指標① 目標：<u>400</u> 実績：<u>309</u> 達成率：<u>77.3</u> % 指標② 目標：<u>100,000</u> 実績：<u>67,078</u> 達成率：<u>67.1</u> %</p>
令和4年度	<p><取組内容> 【一般の日】令和5年2月21日～2月24日開催（対面とWEB） 出展企業数：367社 来場者数：1,710人 【高校生の日】令和5年3月11日（対面とWEB） 出展企業：87社 来場者数：310人</p> <p><成果> オンライン要素を組み合わせ、3年ぶりに対面開催とした。また、企業からの要望に応え、県内の高校生のみを対象とした「高校生の日」を別日で開催したところ、出展需要が高かった。今後もより効果的な事業となるよう見直しを行っていく。</p> <p>指標① 目標：<u>400</u> 実績：<u>454</u> 達成率：<u>113.5</u> % 指標② 目標：<u>2,400</u> 実績：<u>2,020</u> 達成率：<u>84.2</u> %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	高齢化社会の進展等に伴い福祉人材の需要は高まっており、既存の人材の定着支援とともに、新たな人材の確保対策を図ることは重要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	県内において、福祉分野の事業所が一堂に集まり、面談会や就職相談を行う機会はなく、人材確保に苦慮している事業所からの期待も高い。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	単独での開催では来場者数の増加が見込みづらいことから、産業人材課のオール岐阜・企業フェスに組み込んで開催とすることで、効率的に事業を実施。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 福祉分野の人材は今後も需要が高まることから、安定的に確保していくことが課題であり、来場者が増えるような効果的な策を検討する必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 人材が不足している福祉分野では、定着とともに新たな人材の確保対策を図ることが重要であることから、今後も継続的に取り組みを進める。
